基本操作ガイド

ご使用前に必ずこの基本操作ガイドをお読みください。将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

J　QA7-0552-V01

はじめに

本書では、大切な記載事項には下記のようなマークを使用しています。これらの記載事項は必ずお守りください。

⚠ 警告：取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。
安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。

⚠ 注意：取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

禁止：取り扱いを誤った場合に、製品の故障や損傷、品質の低下が発生する恐れのある禁止事項が書かれています。快適に使用していただくために、必ずこの禁止事項をお守りください。

参考：操作の参考になることや補足説明が書かれています。
お読みになることをお勧めします。

CD-ROM：『リファレンスガイド（CD-ROM）』で、更に詳しく説明されている内容です。内容を更に理解していただくために、ご覧になることをお勧めします。

商標について

Canon、BJ および BJC は、キヤノン株式会社の商標です。
Microsoft®、MS-DOS®、Windows®は、米国マイクロソフト社の登録商標、および商標です。
PC-98は日本電気株式会社の商標です。
その他、本書に記載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

説明書について

- 本書では、Microsoft® Windows® 3.1、Microsoft® Windows® 95、Microsoft® Windows® 98をそれぞれWindows 3.1、Windows 95、Windows 98と略して記載しています。
- 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なく変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期していますが、万一不審な点や誤り、記載漏れなどにお気づきの点がございましたら、最寄りの電話ご相談窓口までご連絡ください。連絡先は、別冊の「ご相談窓口のご案内」に記載しています。
- このプリンタを運用した結果については、上記にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。

国際エネルギースタープログラムについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。
国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしてオフィス機器に関する日本および米国共通の省エネルギーのためのプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費が比較的少なく、その消費を効果的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により、参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機で、それぞれの基準並びにマーク（ロゴ）は、日米で統一されています。

目次

Windows 98／Windows 3.1をお使いの方へ

本書に掲載されているプリンタドライバの設定画面は、おもにWindows 95で使用する場合の画面です。Windows 98で使用する場合も、ほとんど同じ設定画面が表示され、操作方法も変わりません。Windows 3.1で使用する場合は、設定画面のデザインが異なるため、操作方法に若干の違いがあります。詳細は、付録の「Windows 3.1をお使いの方へ」とプリンタドライバのヘルプをご覧ください。

⚠ 安全にお使いいただくために

安全にお使いいただくために、本書の注意事項を必ずお守りください。また、本書に記載されていること以外は行わないでください。思わぬ事故を起こしたり、火災や感電の原因になります。

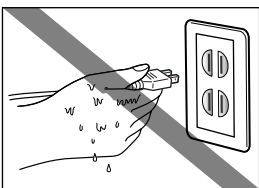
⚠ 警告

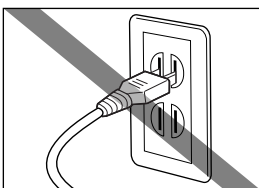
設置場所について

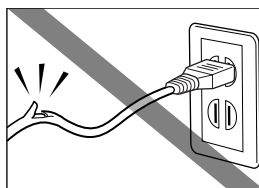
アルコール・シンナーなどの引火性溶剤の近くに設置しないでください。

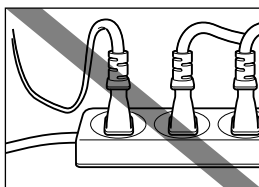
引火性溶剤が内部の電気部品に触れると火災や感電の原因になります。

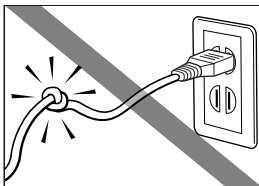
電源について

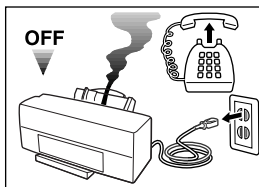
濡れた手で電源コードを抜き差ししないでください。

感電の原因になります。

電源コードは確実にコンセントの奥まで差し込んでください。

差し込みが不十分だと、火災や感電の原因になります。

電源コードを傷つける、加工する、引っ張る、無理に曲げるなどのことはしないでください。また電源コードに重い物をのせないでください。

傷ついた部分から漏電して、火災や感電の原因になります。

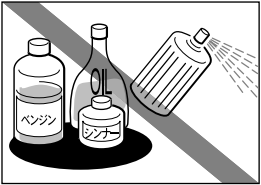
ふたまたソケット等を使ったタコ足配線は行わないでください。

火災や感電の原因になります。

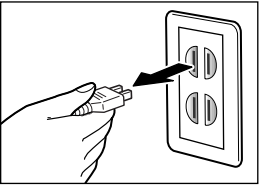
電源コードを束ねたり、結んだりして使用しないでください。

火災や感電の原因になります。

万一、煙が出たり変な臭いがするなどの異常が起こった場合、すぐに電源スイッチを切り、その後必ず電源コードをコンセントから抜いてください。

そのまま使用を続けると火災や感電の原因になります。販売店または修理サービスご相談窓口までご連絡ください。

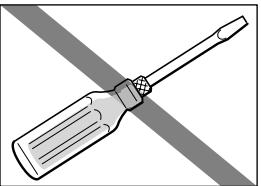
警告

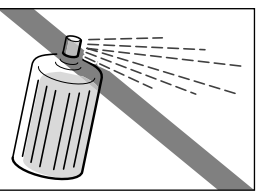
清掃について

清掃のときは、水で湿らせた布を使用してください。アルコール・ベンジン・シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。

プリンタ内部の電気部品に接触すると火災や感電の原因になります。

清掃のときは、電源コードをコンセントから抜いてください。

誤って電源スイッチを押してしまうと、作動した内部の部品に触れてけがの原因になることがあります。

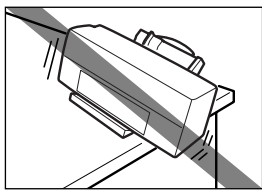
その他

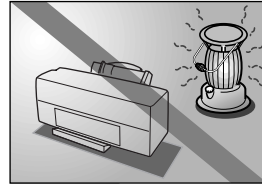
プリンタを分解・改造しないでください。

内部には電圧の高い部分があり、火災や感電の原因になります。

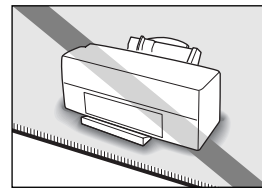
プリンタの近くでは可燃性のスプレー等は使用しないでください。

スプレーのガスが内部の電気部分に触れて、火災や感電の原因になります。

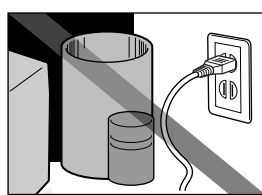
注意

設置場所について

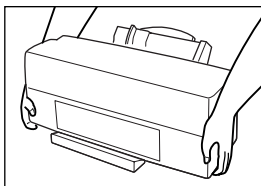
不安定な場所や振動のある場所に設置しないでください。

プリンタが落ちたり倒れたりして、けがの原因になることがあります。

湿気やほこりの多い場所、直射日光の当たる場所、高温や火気の近くには設置しないでください。

火災や感電の原因になることがあります。周囲の温度が5～35度、湿度が10～90%(結露しないこと)の範囲の場所でお使いください。

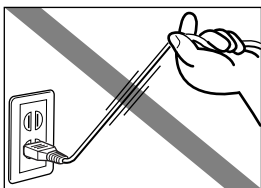
毛足の長いジュータンやカーペットなどの上には設置しないでください。

毛やほこりなどが製品の内部に入り込んで火災の原因になることがあります。

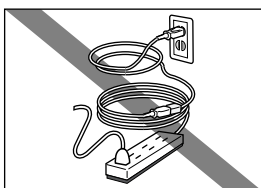
いつでも電源コードが抜けるように、コンセントの回りには物を置かないでください。

万一プリンタに異常が起きたとき、すぐに電源コードがはずせないため、火災や感電の原因になることがあります。

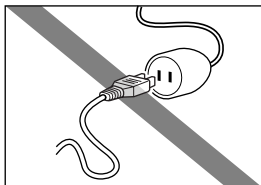
注意

プリンタを持ち運ぶときは、必ず両側下部分を両手でしっかりと持ってください

他の場所を持つと不安定なため、落としてけがの原因になることがあります。

電源について

電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。

コードを引っぱると電源コードが傷つき、火災や感電の原因になることがあります。

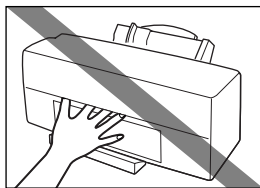
延長電源コードは使用しないでください。

火災や感電の原因になることがあります。

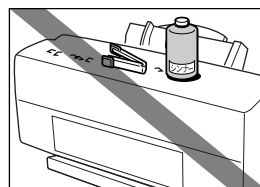
AC100V以外の電源電圧で使用しないでください。

火災や感電の原因になることがあります。なおプリンタの動作条件は次のとおりです。この条件にあった電源でお使いください。

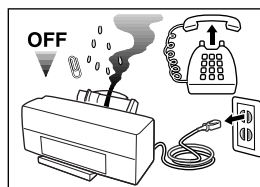
電源電圧：AC100V

電源周波数：50/60Hz

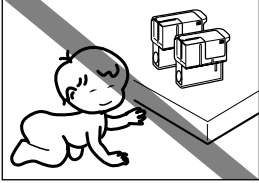
その他

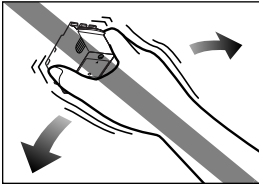
印刷中はプリンタの中に手を入れないでください。

内部で部品が動いているため、けがの原因になることがあります。

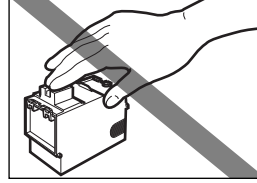
プリンタの上にクリップやホチキス針などの金属物や液体・引火性溶剤（アルコール・シンナー等）の入った容器を置かないでください。

プリンタ内部に落ちたりこぼれたりすると、火災や感電の原因になることがあります。

万一、異物（金属片・液体等）がプリンタ内部に入った場合は、プリンタの電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いて、販売店または修理サービスご相談窓口までご連絡ください。

そのまま使用を続けると火災や感電の原因になることがあります。

BJカートリッジについて

安全のため、お子様の手の届かないところへ保管してください。

誤ってインクをなめたり飲んだりした場合には、ただちに医師にご相談ください。

BJカートリッジを落としたり振ったりしないでください。

インクが漏れて周囲や衣服を汚すことがあります。

印刷後、BJカートリッジの金属部分には触れないでください

熱くなっている場合があり、やけどの原因になることがあります。

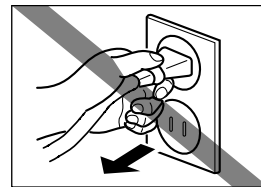
電波障害規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づく第2種情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

蛍光灯などの電気製品の近くに置くときのご注意

蛍光灯などの電気製品とプリンタは約15cm以上離してください。近づけると蛍光灯のノイズが原因でプリンタが誤動作することがあります。

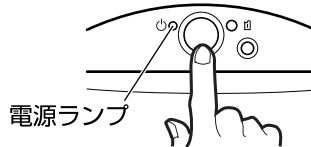
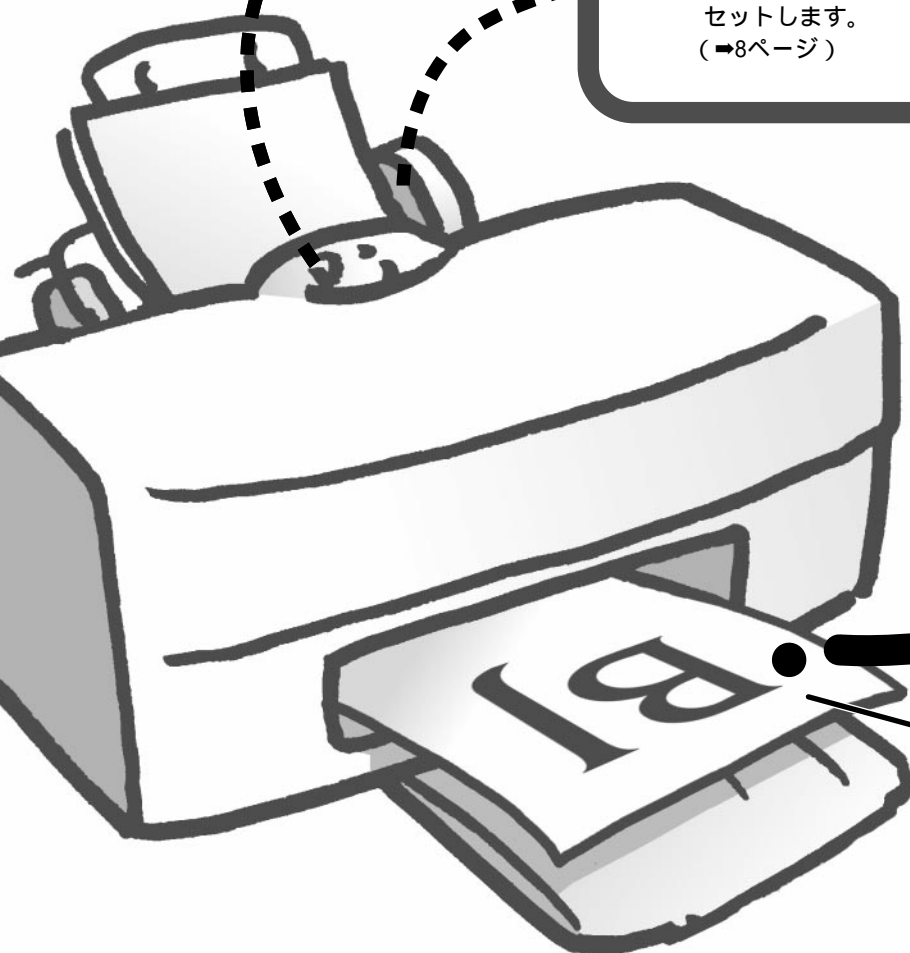
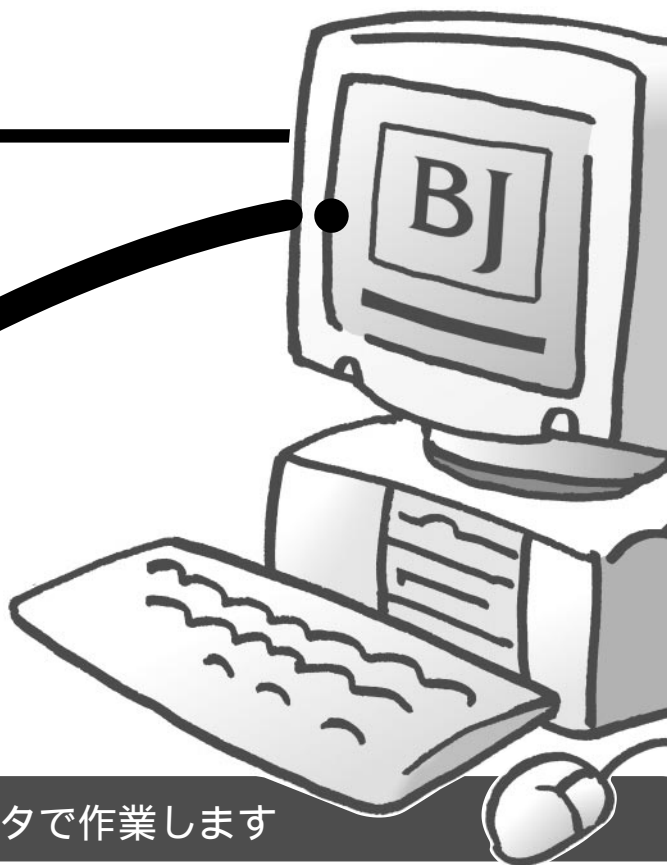
電源を切るときのご注意

電源を切るときは、必ず電源ボタンを押して電源ランプが消えていることを確認してください。電源コードをコンセントから抜いて切ると、その後印刷できなくなることがあります。

印刷してみよう

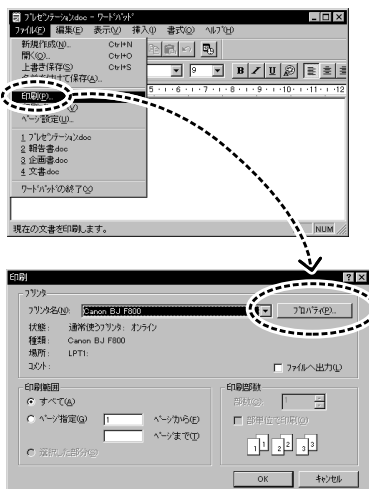
『かんたんスタートガイド』を読んでプリンタのセットアップが済んだら、印刷してみましょう。

まず、プリンタの準備をします

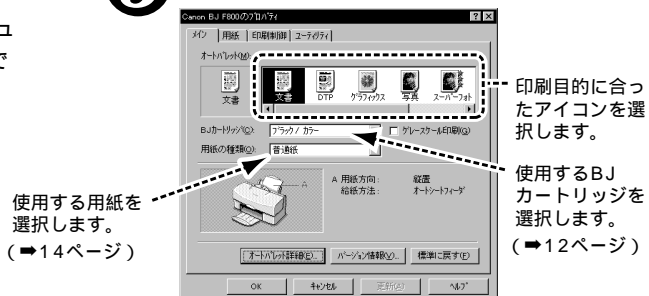
❶ 電源が入っていて、用紙がセットされていることを確認する

電源ランプが消灯している場合は、電源ボタンを押して電源を入れます。

用紙がない場合は、オートシートフィーダにセットします。
（➡8ページ）

次は、コンピュータで作業します

❷ プリンタドライバの設定画面を開く

アプリケーションソフトの［ファイル］メニューで、［印刷］を選び、印刷を実行する画面で［プロパティ］ボタンをクリックします。

参考

アプリケーションソフトによって、設定画面の開きかたや印刷の実行手順は多少違います。お使いのアプリケーションソフトの取扱説明書も併せてご覧ください。

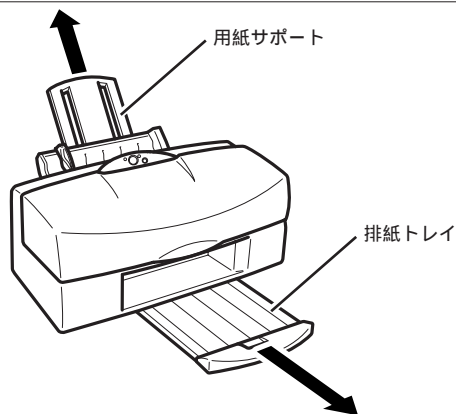
❸ 印刷の設定を行う

参考 用紙サイズはアプリケーションソフトで設定しておきますが、初めて印刷するときは、［用紙］タブをクリックして［用紙サイズ］が同じであることを確認してください。

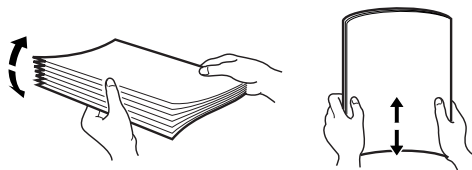
❹ 設定が終わったら［OK］をクリックして閉じる

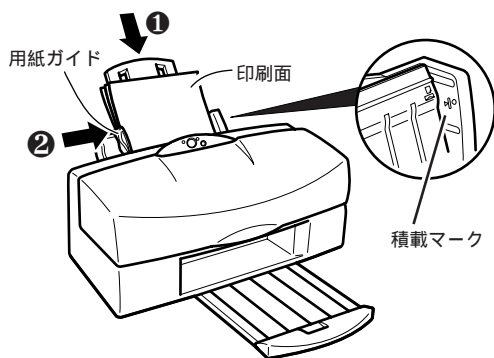
❺ 印刷を開始する

用紙をセットする

Ａ４サイズの普通紙を例にして、基本的な用紙のセットのしかたを説明します。その他の用紙やキヤノン製専用紙については、「使用できる用紙」（14ページ）をご覧ください。なお、それぞれの用紙のセットのしかたは、『リファレンスガイド（CD-ROM）』で詳しく説明しています。

1 用紙サポートと排紙トレイを引き出す。

2 用紙をさばいてから、端をきれいにそろえる。

用紙をさばかなかったり、端をそろえずにセットすると、紙づまりの原因になることがあります。

3 用紙をセットする。

❶ 印刷する面を上にして、オートシートフィーダの右端に合わせてセットする。
❷ 用紙ガイドを、用紙の左端に合わせる。

禁止

用紙を持つときは、できるだけ端を持ち、印刷面にふれないようにしてください。印刷面に傷や汚れがつくと、印刷の品質が低下することがあります。

参考

セットできる用紙の枚数は、普通紙（64g/m²）の場合、約130枚が目安です。ただし、オートシートフィーダの積載マークを超えないようにしてください。

印刷が終了した用紙は…

普通紙の場合は、排紙トレイに約20枚たまったら取り除くようにしてください。インクが乾くまで印刷面にはさわらないようにしてください。
用紙によってはインクが乾くまで時間がかかるものがありますので注意してください（→15ページ）。

写真を印刷する

デジタルカメラやスキャナ等で取り込んだ写真を、フォトBJカートリッジできれいに印刷するためには、プリンタドライバで適切な印刷設定を行う必要があります。ここでは普通紙を使用する場合を例にして印刷設定の方法を説明します。

1

プリンタドライバの設定画面を開き、[オートパレット]で[スーパーフォト]のアイコンを選ぶ。

ブラックBJカートリッジとフォトBJカートリッジの計7色のインクを使って印刷したいときは、必ず[オートパレット] で [スーパーフォト] か [デジカメ] を選んでください。他のオートパレットでも印刷はできますが、その場合、シアン、マゼンタ、イエロー、ブラックの4色のみで印刷します。

2

[用紙の種類]で[普通紙]を選ぶ。

普通紙耐水強化剤が働く設定になるため、印刷した表面には耐水性が持てるようになります。

以上で印刷設定は完了です。[OK]をクリックして印刷を開始します。

さらに、きれいな印刷をめざすなら…

写真の印刷に適した用紙をお使いください。以下の用紙は色の再現性に優れ、リアルな写真の表現を可能にします。各用紙の特長については「使用できる用紙」（14ページ）をご覧ください。

- **高品位専用紙（HR-101）**
- **フォト光沢フィルム（HG-201）**

印刷するときは、プリンタドライバの[用紙の種類]の設定を、お使いの用紙に合わせてください。

参考

設定画面の開きかたは7ページをご覧ください。
Windows 3.1を使用している場合は、45ページをご覧ください。

はがきに印刷する

はがきに印刷するときは、用紙のセットのしかたが普通紙と若干違います。また印刷する内容によってプリンタドライバで印刷設定を変える必要があります。ここでは官製はがきを例にして、印刷のしかたを説明します。

禁止

カールしたはがきは使用しないでください。
カールしたはがきを使用すると、はがきが斜めに送られてしまいます。
カールしているときは、はがきを逆向きに曲げてカールを直してください。このとき、はがきの表面が波状にならないよう注意してください。

参考

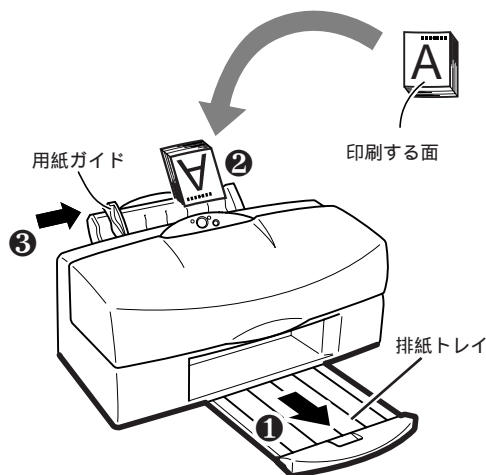
はがきは最大40枚までセットできます。

参考

設定画面の開きかたは7ページをご覧ください。
Windows 3.1を使用している場合は、45ページをご覧ください。

1 プリンタの電源が入っていることを確認し、はがきを縦置きにセットする。

❶用紙サポートは下げた状態で、排紙トレイを引き出す。
❷右図を参照してはがきの上下を確認し、印刷する面を上にしてオートシートフィーダの右端に合わせてセットする。
❸用紙ガイドを、用紙の左端に合わせる。

特に、はがきの上下を間違えてセットしないように注意してください。また、横置きにセットしないでください。

2 プリンタドライバの設定画面を開き、印刷する内容に合わせて[オートパレット]を選択する。

宛名、文字中心の原稿 →
文章、イラスト等が混在 →
写真の原稿 →

3 [用紙の種類]で[はがき]を選択する。

普通紙耐水強化剤が働く設定になるため、印刷した表面には耐水性が持てるようになります。

4 [用紙]タブをクリックし、[用紙サイズ]が[はがき]になっていることを確認する。

用紙サイズが[はがき]になっていない場合はアプリケーションソフトの設定を確認してください。アプリケーションソフトの設定に問題がなければ、プリンタドライバの[用紙サイズ]で[はがき]を選択してください。

5 [OK]をクリックして印刷を開始する。

印刷済みのはがきは1枚ごとに、排紙トレイからとりのぞいてください。印刷面が十分に乾燥するのを待って（約2分間）、同様の手順で反対側の面を印刷するようにしてください。

写真の再現性にこだわるなら…

通常の官製はがきではなく、表面に光沢のあるはがきを使うと写真の発色性がさらに向上します。キヤノン製専用紙としては以下があります。

・フォト光沢ハガキ（KH-201N）

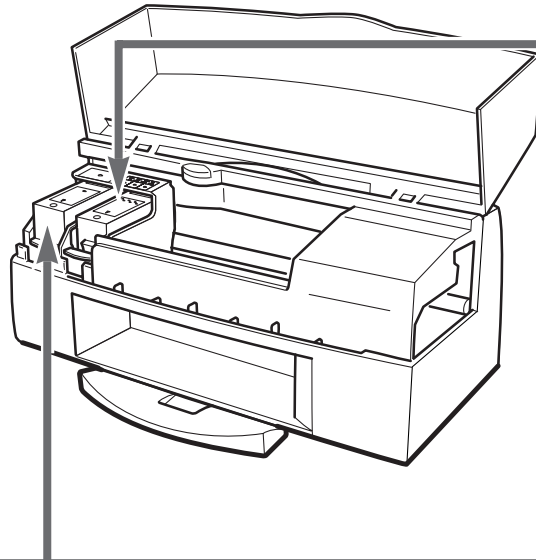
印刷するときは、プリンタドライバの[用紙の種類]で必ず[光沢はがき]を選択してください。[光沢はがき]の場合は耐水機能は働きませんが、その他の設定は官製はがきの場合と同じです。

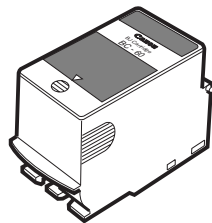
禁止

はがきを持つときはできるだけ端を持ち、インクが乾くまで印刷面にふれないでください。

使用できるBJカートリッジ

本機は、常時2つのBJカートリッジを取り付けて使用します。
用途によって、BJカートリッジの組み合わせを変えてご使用ください。
最適な印刷品位を保つため、キヤノン製カートリッジのご使用をお勧めします。

●ブラックBJカートリッジとフォトBJカートリッジ
── 写真などの画像の印刷に適しています。
●ブラックBJカートリッジとカラーBJカートリッジ
── ビジネスグラフや一般的なカラー文書の印刷に適しています。

ブラックBJカートリッジ　BC-60

ブラックのインクと普通紙耐水強化剤が入っています。

BC-60

- **インクタンクとプリントヘッドは一体型です。インクがなくなったときは、BJカートリッジごと交換してください。**
  （24ページ）

参考

このページで使用されている専門用語を解説します。

普通紙耐水強化剤
普通紙へ印刷したインクに耐水性を与える液です。普通紙以外の用紙には働きません。
また普通紙であっても、プリンタドライバで次の設定をした場合は働きません。
・[オートパレット]で[ドラフト]を選択
・[印刷品位]を一番左に設定

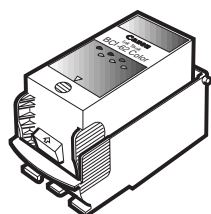
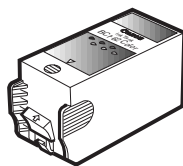
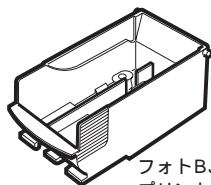
プリントヘッド
細いノズルからインクを用紙に吹き付ける部分です。
乾燥したり、汚れると、ノズルが詰まり、インクが出なくなります。

参考

使用済みBJカートリッジ回収のお願い
キヤノンでは、資源の再利用のために、使用済みBJカートリッジ、インクタンクの回収を推進しています。この回収活動は、お客様のご協力によって成り立っております。
つきましては、キヤノンの“環境保全と資源の有効活用”の主旨にご賛同いただければ、お手数ではございますが、ご使用済みとなったBJカートリッジ、インクタンクを、下記マークのある販売店または最寄りのキヤノン販売営業拠点までお持ちいただければ幸いと存じます。

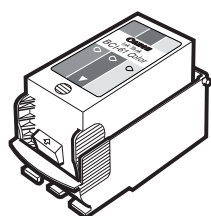
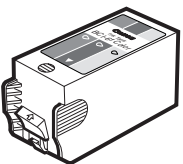
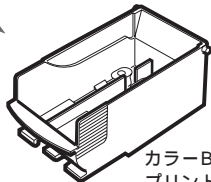
キヤノン製カートリッジ
回収協力店

フォトBJカートリッジ　BC-62eフォト

6色のインクが入っています。通常のシアン、マゼンタ、イエローに加えて、やや色の薄いフォトシアン、フォトマゼンタ、フォトイエローが入っているため、写真などの自然画像を印刷するのに適しています。また、通常のシアン、マゼンタ、イエローのみを使う印刷にも対応できます。

・インクタンクとプリントヘッドの分離型なのでインクがなくなったとき、インクタンクのみ交換できます。（21ページ）
プリントヘッドが消耗したときは、BJカートリッジごと交換してください。（24ページ）

または

カラーBJカートリッジ　BC-61

通常の3色（シアン、マゼンタ、イエロー）のカラーインクが入っています。一般的なカラー文書やビジネスグラフを印刷するのに適しています。

・インクタンクとプリントヘッドの分離型なのでインクがなくなったとき、インクタンクのみ交換できます。（21ページ）
プリントヘッドが消耗したときは、BJカートリッジごと交換してください。（24ページ）

インクタンクをお求めの際は

フォトBJカートリッジ用かカラーBJカートリッジ用か確認の上、型番をご指定ください。
間違えて取り付けると、印刷できなくなる場合があります。

フォトBJカートリッジをお求めの際は

カラーBJカートリッジBC-62eフォトとご指定ください。
BJC-700J用のカラーBJカートリッジBC-62フォトは、本機では使用できません。
間違えて使用すると、印刷できなくなる場合があります。

参考

BJカートリッジの仕様については、47ページをご覧ください。

参考

最適な印刷品位を保つため、開封後は、BJカートリッジは1年、インクタンクは6ヶ月で使い切るようにしてください。

注意

安全のため、お子様の手の届かないところへ保管してください。
誤ってインクをなめたり飲んだりした場合には、ただちに医師にご相談ください。

使用できる用紙

使用できる用紙の種類と特長を説明します。それぞれの用紙のセットのしかた、印刷範囲等は、『リファレンスガイド（CD-ROM）』で詳しく説明しています。

参考

用紙の重さ

オートシートフィーダから給紙できる用紙の重さは105g/m²以下です。
それより重い紙（厚さ0.8mm以下）は手差し給紙口にセットしてください。
セットのしかたは『リファレンスガイド（CD-ROM）』をご覧ください。
厚さ0.8mmを超える紙は、紙づまり等の原因になりますので使用しないでください。

参考

用紙サイズ

定型紙は以下が使用できます。
A5
A5横
A4
B5
Letter
Legal
Letter＋
A4+
はがき
洋形4号
洋形6号
非定型紙は横100.0mm×長さ100.0mmから横241.3mm×長さ584.2mmまでの範囲で使用できます。

■一般的な用紙

普通紙

複写機等で使用される一般的なコピー用紙（重さ64〜105g/m²）が使用できます。

はがき

一般の官製はがきを使用できます。折り目のついている往復はがきは使用できません。

封筒

市販の定型封筒では洋形4号、洋形６号が使用できます。

■キヤノン製専用紙

最適な印字品位を保つため、次のキヤノン製専用紙のご使用をお勧めします。

バブルジェット用紙（LC-301）

BJプリンタ専用の普通紙です。

高品位専用紙（HR-101）

普通紙よりもカラーの発色性に優れています。グラフなどを多用したビジネス文書、写真の印刷に適しています。

フォト光沢フィルム（HG-201）

光沢紙よりつやのあるフィルム材質のシートです。フォトBJカートリッジとの組み合わせで写真を最高品質で表現します。

フォト光沢ハガキ（KH-201N）

内容を書く面に光沢がある、はがきサイズの専用紙です。写真やイラストを多用した原稿は、官製はがきより美しい仕上がりになります。

バックプリントフィルム（BF-102）

白い半透明のフィルム材質でできているため、裏から光を当てて印刷内容を展示できます。印刷結果は左右が反転した鏡像印刷になります。

OHPフィルム(CF-102)

オーバーヘッドプロジェクタ（OHP）で使用する専用のフィルムです。カラープレゼンテーション資料の印刷に最適です。

Tシャツ転写紙（TR-201）

Tシャツ用のアイロンプリントを作成できる用紙です。印刷結果は左右が反転した鏡像印刷になります。

BJクロス（FS-101）

綿100%の布シートです。アイデア次第でオリジナルグッズを作成できます。

用紙についてのご注意

以下の用紙は使用しないでください。
きれいに印刷できないだけでなく、紙づまりや故障の原因になります。

- **折れている用紙**
- **カールしている用紙**
- **しわがついている用紙**
- **濡れている用紙**
- **薄すぎる用紙（重さ64 g/m²未満）**
- **厚すぎる用紙（厚さ0.81 mm以上）**
- **往復はがき**
- **裏面が写真のはがき**
- **写真やステッカーを貼ったはがき**
- **連続紙（ミシン目でつながっている用紙）**
- **穴のあいている用紙（例：ルーズリーフ）**

用紙を保管するときは

使わなかった用紙は入っていた袋に入れ、直射日光の当たる場所や高温多湿な場所をさけて保管してください。曲がったり、しわがつかないよう水平に置いてください。

参考
キヤノン製専用紙をお使いの際は、専用紙の袋に書かれている「使用上の注意」に従ってください。

用紙を持つときは

用紙はできるだけ端を持ち、印刷面にふれないようにしてください。
印刷面に傷がついたり汚れがつくと、印刷の品質が低下することがあります。

印刷後、インクが乾くまで印刷面には触らないでください

次の用紙は、1枚印刷するたびに取り除き、インクが乾くまで待ってください。
待ち時間の目安は以下の通りです。

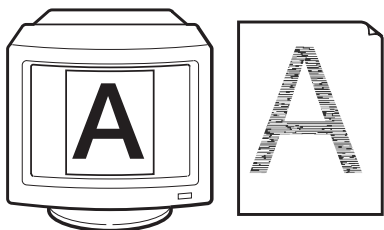
用紙	待ち時間
官製はがき	約2分
フォト光沢ハガキ	約2分
フォト光沢フィルム	約10分
OHPフィルム／バックプリントフィルム	約15分
BJクロス	約60分
Tシャツ転写紙	用紙に添付の取扱説明書参照

参考
普通紙や高品位専用紙の場合は、排紙トレイに印刷済みの用紙が20枚たまったら取り除いてください。

また、印刷済みの用紙を水で濡らしてしまった場合は、乾くまで印刷面にふれ

メンテナンス

プリンタを長持ちさせるためには、適当な時期にBJカートリッジなどの消耗品を交換し、汚れたらこまめに清掃してください。

■印刷結果がかすれたり、色味が正しく印刷されないときは

BJカートリッジのプリントヘッドは、使っているうちにノズルがつまったり、消耗して正常に印刷できなくなることがあります。
印刷結果がかすれたり、色味が正しく印刷されないときは、以下の順番でBJカートリッジの状態を確認し、必要ならインクタンク、BJカートリッジの交換を行ってください。

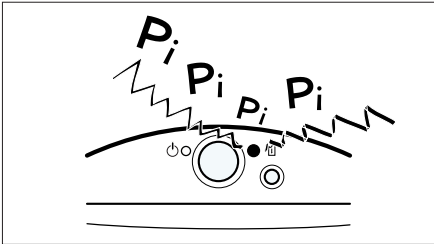
ノズルチェックパターンを印刷する（→18ページ）

プリントヘッドをクリーニングする（→19ページ）

インクタンクを交換する（→21ページ）

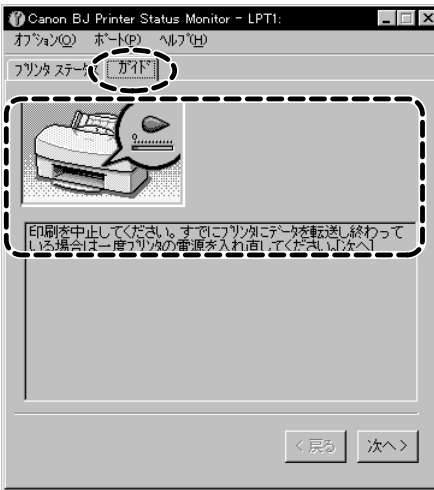
BJカートリッジを交換する（→24ページ）

■ 次のようになったときは

BJカートリッジのインクがなくなったときは、印刷を中断し、以下の2種類の方法で知らせます。

・プリンタ本体のブザーが鳴る

3回鳴る…ブラックBJカートリッジのインクがなくなった
4回鳴る…フォトまたはカラーBJカートリッジのインクがなくなった

参考

リセットボタンを押すと、ブザーの鳴った回数を確認できます。

・画面にBJステータスモニタが表示される

[プリンタステータスシート]の[状態]に表示される絵とメッセージでインクがなくなったことを知らせます。[ガイド]タブをクリックすると対処方法が表示されます。記載内容に従って操作してください。

新しいものに交換するときは、以下を参照してください。

ブラックBJカートリッジの場合→**BJカートリッジを交換をする**（24ページ）
フォトまたはカラーBJカートリッジの場合→**インクタンクを交換する**（21ページ）

■ プリンタが汚れたら

29ページを見て清掃してください。

ノズルチェックパターンを印刷する

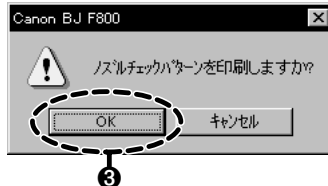
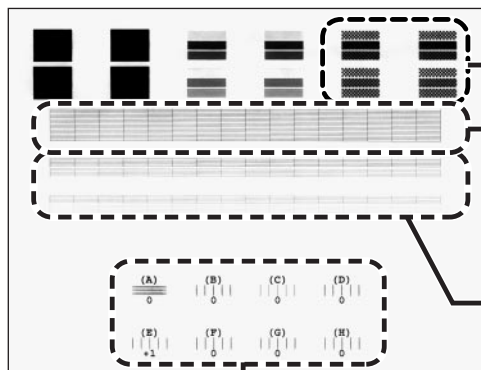
プリントヘッドのノズルから正常に各色のインクが出ているか、また、2個のBJカートリッジのプリントヘッド位置にずれがないか、ノズルチェックパターンを印刷して確認します。印刷結果がかすれていたり、色味がおかしいときに行ってください。

1 電源が入っていることを確認し、A4サイズの用紙をセットする。

2 プリンタドライバから［ノズルチェックパターン］を選択する。

❶設定画面を開き、[ユーティリティ]タブをクリックして、[ユーティリティ]シートを開く。

❷[ノズルチェックパターン]をクリックする。

❸ [OK]をクリックする。

3 印刷されたノズルチェックパターンを見て、各BJカートリッジのノズルの状態を確認する。

参考

設定画面の開きかたは7ページをご覧ください。Windows 3.1をお使いの方は45ページをご覧ください。

参考

ノズルチェックパターンの印刷はプリンタ本体からも実行できます。リセットボタンを押し続けて、ブザーが3回鳴ったときに離してください。

CD-ROM

右で説明しているノズルチェックパターンは、フォトBJカートリッジのものです。カラーBJカートリッジのノズルチェックパターンの見かたは、『リファレンスガイド（CD-ROM)』をご覧ください。

プリントヘッドをクリーニングする

プリントヘッドのノズルのつまりを取るクリーニングには2種類あります。通常はクリーニングを行い、改善されないときは、より強力なヘッドリフレッシングを行ってください。

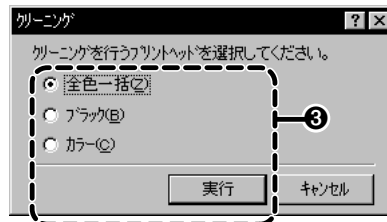
1. クリーニングを行う

1 電源が入っていることを確認する。

2 プリンタドライバから［クリーニング］を選択する。

❶設定画面を開き、[ユーティリティ]タブをクリックして、[ユーティリティ]シートを開く。

❷[クリーニング]をクリックする。

❸クリーニングするプリントヘッドを選択し、[実行]をクリックする。
全色一括…両方のBJカートリッジ
ブラック…ブラックBJカートリッジのみ
カラー…フォトまたはカラーBJカートリッジのみ

❹[OK]をクリックする。

電源ランプが点滅して、クリーニング動作を始めます。終了するまで1～2分強かかりますので、電源ランプの点滅が止まるまで、しばらくお待ちください。

禁止

不必要なクリーニングやヘッドリフレッシングは避けてください。
クリーニングやヘッドリフレッシングを行うとインクを消耗します。

参考

設定画面の開きかたは7ページをご覧ください。Windows 3.1をお使いの方は45ページをご覧ください。

参考

クリーニングはプリンタ本体からも実行できます。リセットボタンを押し続けて、ブザーが1回鳴ったときに離してください。

2.ノズルチェックパターンを印刷し、クリーニングの効果を確認する（18ページ）

3.クリーニングの効果がない場合、ヘッドリフレッシングを行う

参考

設定画面の開きかたは7ページをご覧ください。Windows 3.1をお使いの方は45ページをご覧ください。

❶設定画面を開き、[ユーティリティ]タブをクリックして、[ユーティリティ]シートを開く。

❷[ヘッドリフレッシング]をクリックする。

参考

ヘッドリフレッシングはプリンタ本体からも実行できます。リセットボタンを押し続けて、ブザーが2回鳴ったときに離してください。

❸[OK]をクリックする。
電源ランプが点滅して、ヘッドリフレッシング動作を始めます。終了するまで2〜3分強かかりますので、電源ランプの点滅が止まるまで、しばらくお待ちください。

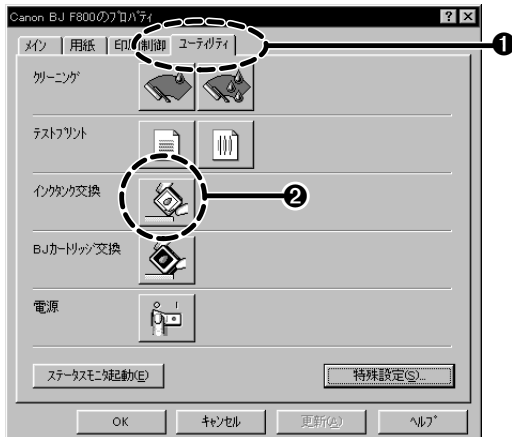
4.ノズルチェックパターンを印刷し、ヘッドリフレシングの効果を確認する（18ページ）

効果がない場合は、再度、クリーニングとヘッドリフレッシングの操作を行ってください。3回繰り返しても効果がない場合は、インクがなくなっているか、BJカートリッジが消耗している可能性があります。交換のしかたは以下をご覧ください。
→インクタンクを交換する（21ページ）
→BJカートリッジを交換する（24ページ）

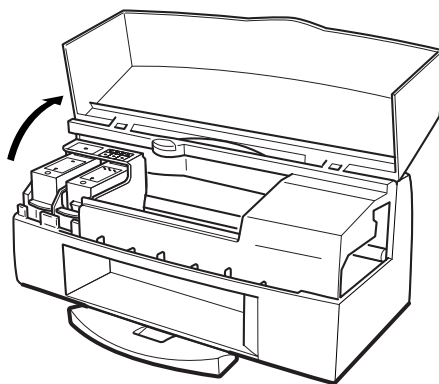
インクタンクを交換する

フォトやカラーBJカートリッジのインクがなくなったとき、次の手順に従ってインクタンクを交換します。
新しいインクタンクをお買い求めの際は、フォトBJカートリッジ用は「BCI-62 フォト」、カラーBJカートリッジ用は「BCI-61 カラー」と、型番をご指定ください。

1 電源が入っていることを確認し、プリンタドライバから[インクタンク交換] を選択する。

❶設定画面を開き、[ユーティリティ]タブをクリックして、[ユーティリティ]シートを開く。

❷[インクタンク交換]をクリックする。

❸[OK]をクリックする。

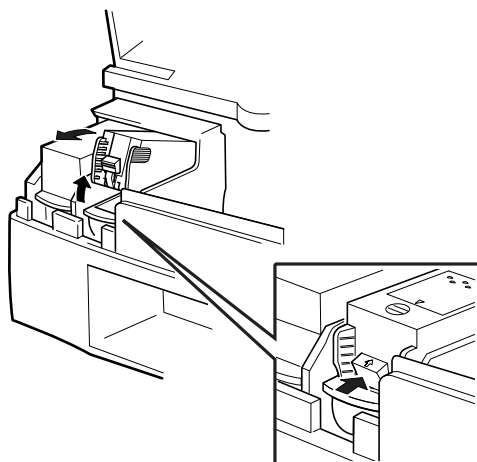
2 2、3秒待って、フロントカバーを開ける。

参考
インクタンク交換の目安は16～17ページをご覧ください。

参考
設定画面の開きかたは7ページをご覧ください。Windows 3.1をお使いの方は45ページをご覧ください。

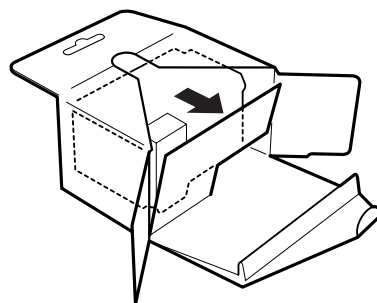
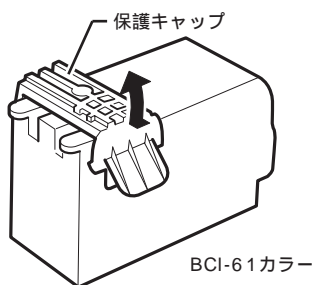
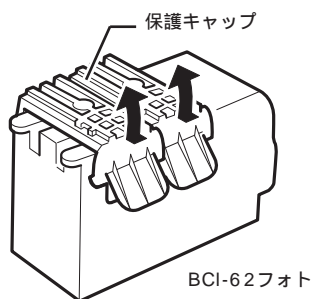
注意

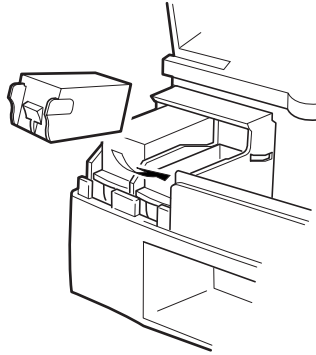
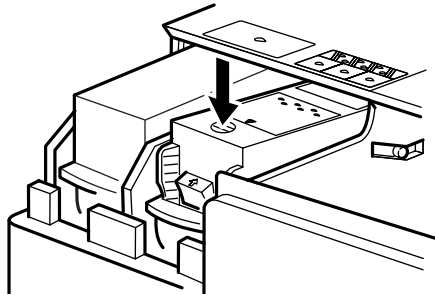
インクタンクを落としたり振ったりしないでください。
インクが漏れて周囲や衣服を汚すことがあります。

3 インクタンクの固定つまみを押して、インクタンクを取りはずす。

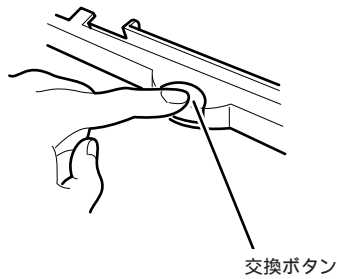
BJカートリッジのプリントヘッド部分は取り付けたままにします。

参考

使用済みのインクタンクは、回収のご協力をお願いします。（12ページ）
または、地域の条例に従って捨ててください。

4 新しいインクタンクを箱から出す。

5 オレンジ色の保護キャップをはずす。

はずした保護キャップは再装着しないでください。
地域の条例に従って捨ててください。

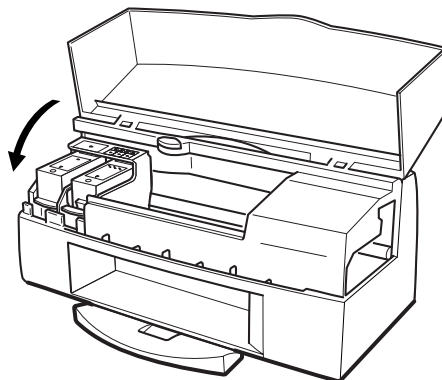
6 インクタンクを斜めに差し込む。

7 インクタンク上部の㊂を押して固定する。

「カチッ」と音がします。

8 青色の交換ボタンを押す。

「ピーッ」と鳴ってBJカートリッジが右端に移動し、プリントヘッドのクリーニングが自動的に始まります。

9 フロントカバーを閉める。

プリントヘッドのクリーニング中は電源ランプが点滅します。1〜2分強後にクリーニングが終了して、電源ランプが点灯したら、交換は完了です。

BJカートリッジを交換する

ブラックBJカートリッジのインクがなくなったら、次の手順に従って、BJカートリッジを交換してください。
カラーまたはフォトBJカートリッジのインクタンクを新しいものに交換しても、印刷結果がよくないときには、プリントヘッドが消耗していますので、同様の手順で新しいBJカートリッジに交換してください。

参考

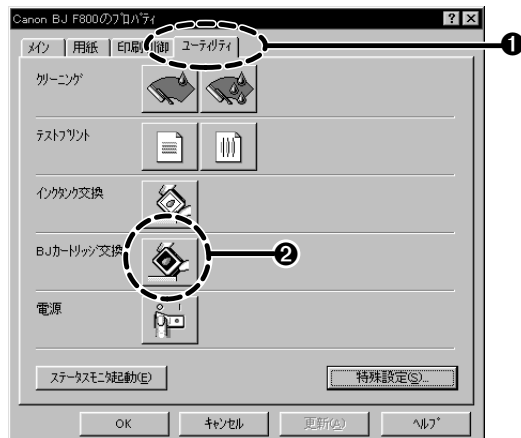
BJカートリッジ交換の目安は16～17ページをご覧ください。

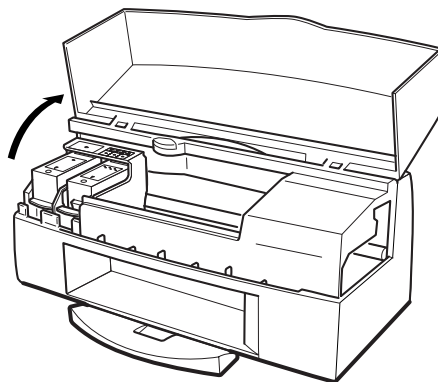
参考

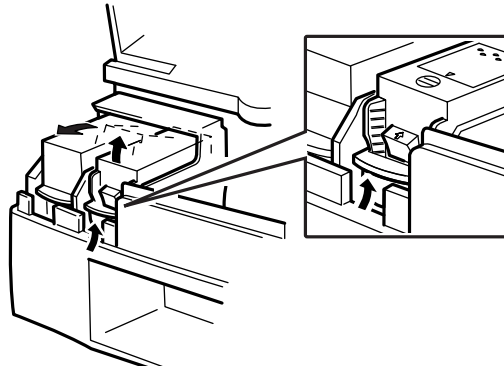
設定画面の開きかたは7ページをご覧ください。Windows 3.1をお使いの方は45ページをご覧ください。

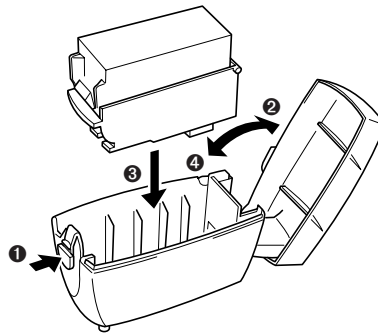
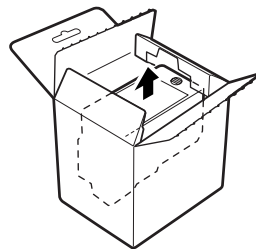
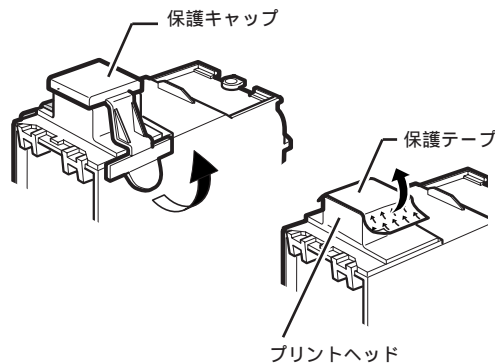
1 電源が入っていることを確認し、プリンタドライバから[BJカートリッジ交換]を選択する。

❶設定画面を開き、[ユーティリティ]タブをクリックして、[ユーティリティ]シートを開く。

❷[BJカートリッジ交換]をクリックする。

❸[OK]をクリックする。

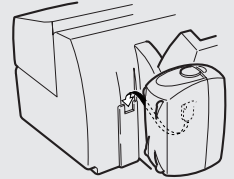
2 2、3秒待って、フロントカバーを開ける。

3 BJカートリッジ固定つまみを押して、BJカートリッジを取り出す。

図は、フォトBJカートリッジの例です。

使用済みのBJカートリッジは、回収のご協力をお願いします。（12ページ）または、地域の条例に従って捨ててください。
まだ使えるBJカートリッジを保管するときは、保管箱に入れてください。

保管箱に入れないと、インクが乾燥して、その後印刷できなくなります。

4 新しいBJカートリッジを箱から出す。

5 オレンジ色の保護キャップと保護テープをはずす。

⚠ 注意

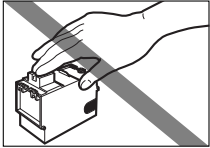
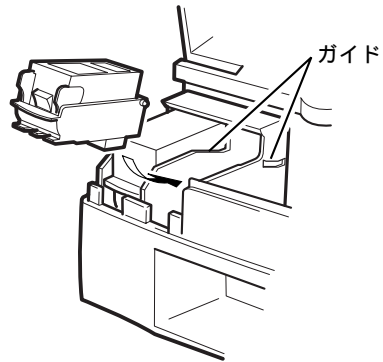
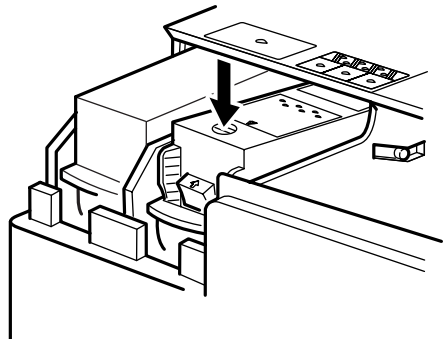
BJカートリッジを落としたり振ったりしないでください。インクが漏れて周囲や衣服を汚すことがあります。

参考

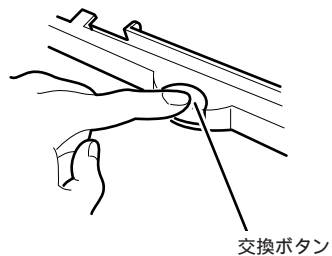
保管箱は、本機の背面に取り付けておくと便利です。

禁止

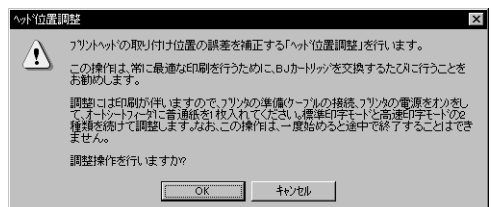
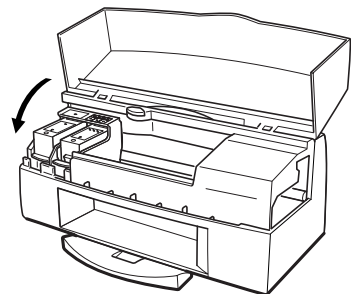
はずした保護キャップと保護テープは再装着できません。地域の条例に従って捨ててください。

禁止

プリントヘッドには触らないでください。その後印刷できなくなることがあります。

6 BJカートリッジホルダのガイドに沿って斜めに差し込む。

7 上部の㊂を押して固定する。

「カチッ」と音がします。

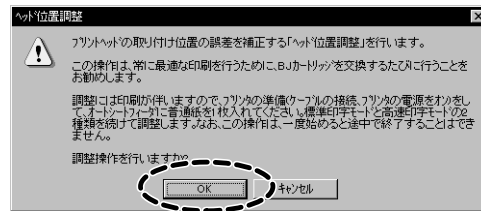
8 青色の交換ボタンを押す。

「ピーッ」と鳴ってBJカートリッジが右端に移動し、プリントヘッドのクリーニングが自動的に始まります。

9 フロントカバーを閉める。

プリントヘッドのクリーニング中は電源ランプが点滅します。1～2分強後にクリーニングが終了して、電源ランプが点灯し、続いてプリントヘッドの位置調整のメッセージが表示されます。

プリントヘッドの位置を調整する

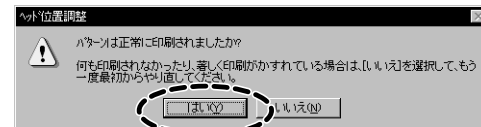
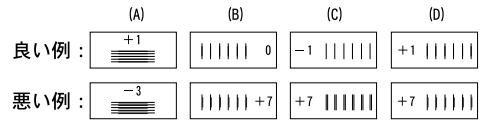
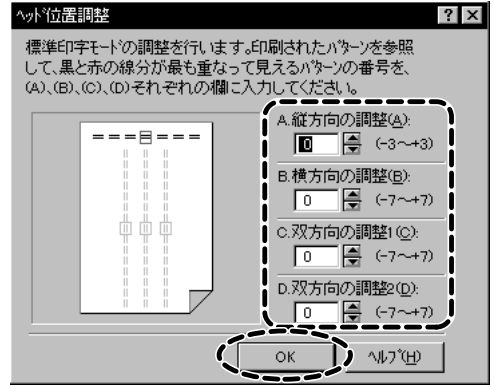
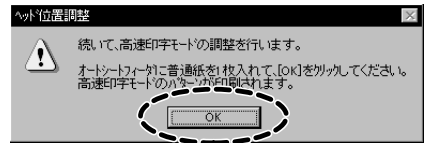
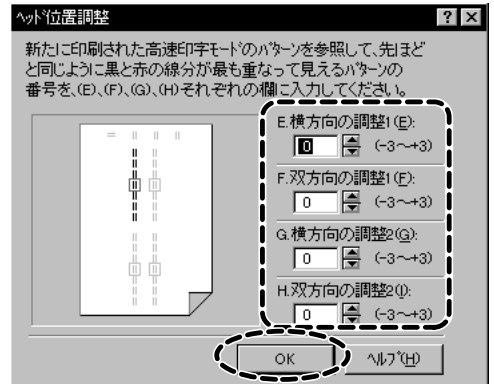
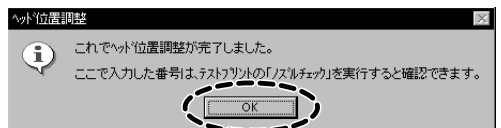
本機は2つのBJカートリッジを常時使用します。BJカートリッジの交換を行ったときには、2つのBJカートリッジのプリントヘッドの位置を合わせるために、次の手順に従って、プリントヘッドの位置を調整してください。

1 **電源が入っていることを確認し、オートシートフィーダにA4サイズの用紙を2枚以上セットする。**

2 **画面のメッセージを読んで、[OK]をクリックする。**

3 **パターンが印刷されたら、[はい]をクリックする。**

参考

用紙をセットする

8ページをご覧ください。

4 印刷されたパターンを確認して、(A)、(B)、(C)、(D)の各線がぴったり重なっているパターンの番号を入力して、[OK]をクリックする。

5 用紙がセットされていることを確認して、[OK]をクリックする。

6 新しく印刷されたパターンを確認して、(E)、(F)、(G)、(H)の各線がぴったり重なっているパターンの番号を手順4と同様に入力して、[OK]をクリックする。

7 [OK]をクリックする。

これで、プリントヘッドの位置調整が終了します。

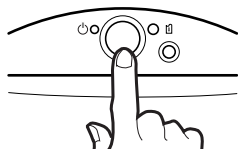
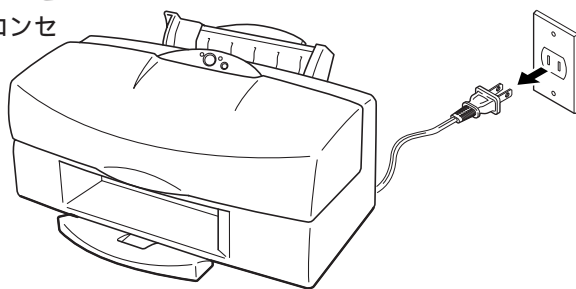
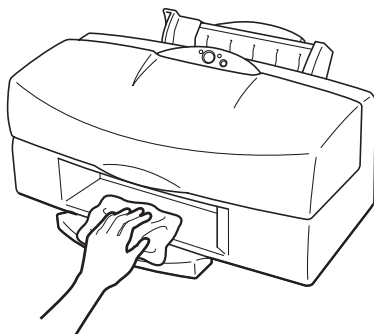
参考

ここで設定した数値は、正しい操作でプリンタの電源を切った場合にのみ保存されます。電源を切るときは必ず電源ボタンを押してください。設定されている値を確認したい場合は、「ノズルチェックパターンを印刷する」（18ページ）をご覧ください。

プリンタを清掃する

排紙口を清掃する

印刷した枚数が多くなると、排紙口が汚れてきます。汚れが目立ったら次の手順に従ってプリンタを清掃してください。

1 電源ボタンを押して、電源を切る。

2 電源ランプが消えていることを確認して、電源コードをコンセントから抜く。

3 排紙口を布でふく。

高品位専用紙 HR-101を使用したとき、給紙ローラを清掃する

高品位専用紙を長く使用すると、プリンタ内部に紙粉がたまり、用紙が正しく送られなくなることがあります。このような場合はクリーニングシートを使って、内部の給紙ローラの清掃を行ってください。清掃の方法は、『リファレンスガイド（CD-ROM）』をご覧ください。

警告

シンナー、ベンジン、アルコールなどの引火性溶剤を使わないでください。
プリンタ内部の電気部品に接触すると、火災や感電の原因になることがあります。

禁止

電源の入った状態で、電源コードをコンセントから抜かないでください。その後、印刷できなくなることがあります。

注意

清掃するときは必ず電源コードをコンセントから抜いてください。
誤って電源が入ると、作動した内部の部品に触れてけがの原因になることがあります。

トラブルクリニック

**プリンタを使用中に問題が発生して困ったときは、以下の項目を参照してトラブルを解決してみてください。本書には起こりやすいトラブルだけを症状別に記載しています。
ここで見つからない場合は、『リファレンスガイド（CD-ROM)』をご覧ください。**

エラーが発生したときは

用紙やインク切れ、紙づまりなどのトラブルが発生すると、自動的にBJステータスモニタが表示されます。
BJステータスモニタは印刷中のプリンタの状態や進行状況をメッセージや絵で表示するアプリケーションソフトです。

1.メッセージや絵を見て、発生しているエラーの状況を確認する。
2.［ガイド］タブをクリックし、表示されるメッセージに従って対処を行う。
エラーから回復すると、印刷が再開されます。

プリンタドライバがインストールできない

原因		対処方法
インストールを途中でやめてしまった。	➡	『かんたんスタートガイド』に記載されている手順に従ってインストールする。やり直す場合は、プリンタドライバを削除し、もう一度インストールする。 〈削除の方法〉 Windows 98/Windows 95➡［スタート］から［プログラム］の［BJラスタプリンタ］を選択し、［アンインストーラ］をクリックします。以降は画面の指示に従ってください。 Windows 3.1➡プログラムマネージャの［ウィンドウ］メニューから、［BJ ラスタプリンタドライバ］を選択し、［BJ ラスタアンインストーラ］アイコンをダブルクリックします。以降は画面の指示に従ってください。 **参考** エラーが発生してインストーラが強制終了した場合は、Windowsが不安定な状態のためインストールできない場合があります。Windowsを再起動して再インストールしてください。
他のアプリケーションソフトを起動している。	➡	他のアプリケーションソフトをすべて終了し、もう1度インストールする。
インストール用CD-ROMドライブが正しく指定されていない。	➡	[マイコンピュータ]のアイコンをダブルクリックし、開いたウィンドウにあるCD-ROMのアイコンをダブルクリックする。以降は『かんたんスタートガイド』をご覧になり、インストールを行ってください。
インストール用ディスクに異常がある。	➡	Windows 98/Windows 95のエクスプローラやWindows 3.1のファイルマネージャでディスクが読めるか確認する。ディスクが読めない場合は、ご相談窓口にお問い合わせください。

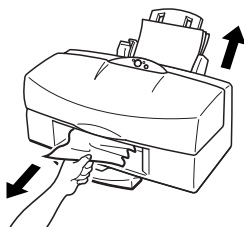
用紙が送られない／用紙がつまった

■オートシートフィーダから用紙が送られない

原因		対処方法
厚すぎる用紙を使っている。	➡	0.8mm以下の厚紙は手差しで1枚ずつ印刷する。 オートシートフィーダにセットできるのは、重さが105g/m²までの用紙です。（14ページ）
セットした用紙の枚数が多すぎる。	➡	「オートシートフィーダ積載枚数」（46ページ）に書かれた範囲を超えないように用紙をセットする。 記載された積載枚数以上に用紙をセットすると、正常に給紙できなくなります。（8ページ）
用紙サポートを引き出していない。	➡	A5横、はがき、封筒以外の用紙をオートシートフィーダにセットする場合は、用紙サポートを引き出す。 用紙サポートを引き出さないと用紙がオートシートフィーダの奥まで届かずに正常に給紙できない場合があります。
折れたり、反りのある用紙を使っている。	➡	「用紙についてのご注意」（15ページ）を読んで正しい用紙を使用する。 折れたり、反りのある用紙は正常に給紙されないばかりでなく、つまる原因になります。
プリンタドライバの［給紙方法］で、［手差し］が選択されている。	➡	［オートシートフィーダ］を選択する。 〈方法〉プリンタドライバの設定画面を開き、［オートパレット詳細］ボタンをクリックして、［クオリティ］シートの［給紙方法］で［オートシートフィーダ］を選択します。

■用紙がつまった

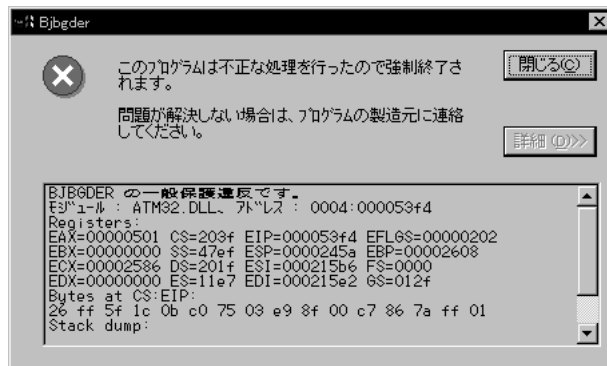
対処方法：つまった用紙の取り除きかた

● 排紙側または給紙側から引き出しやすいほうに用紙をゆっくり引っ張って取り除きます。

● 用紙が破れてプリンタ内部に残った場合は、電源を切ってからフロントカバーを開け、破れた用紙を取り除きます。

画面にメッセージが表示されている

■「LPT1への書き込みエラー」が表示されて印刷できない

原因		対処方法
本機の電源が入っていない。	➡	本機の電源ランプが点灯していることを確認する。 電源ランプが速く点滅している場合は、本機が初期動作をしています。点灯に変わるまでお待ちください。
本機とコンピュータがプリンタケーブルで正しく接続されていない。	➡	電源コードやプリンタケーブルをしっかりと接続する。 同梱の『かんたんスタートガイド』をご覧ください。
プリンタケーブルの異常。	➡	別のプリンタケーブルに交換する。 プリンタケーブルの異常については、販売元にご相談ください。
切り替え器や外付けバッファの異常。	➡	切り替え器や外付けバッファをはずし、本機とコンピュータを直接つないで印刷する。 正常に印刷される場合、切り替え器や外付けバッファの異常が考えられます。販売元にご相談ください。
スプールの設定が正常に動作していない。	➡	スプールの設定を変更する。 プリンタドライバの設定画面を開き、[詳細] シートの [スプールの設定] ボタンをクリックし、[プリンタに直接印刷データを送る] を選択します。
プリンタポート（LPT1）の異常。	➡	プリンタポート（LPT1）の状態を確認する。 確認の方法は『リファレンスガイド（CD-ROM)』をご覧ください。
インストールされているプリンタドライバに問題がある。	➡	プリンタドライバを削除し、もう一度インストールする。 〈削除の方法〉 [スタート] から [プログラム] の [BJラスタプリンタ] を選択し、[アンインストーラ] をクリックします。以降は画面の指示に従ってください。
コンピュータにWPS（Windows Printing System）ドライバがインストールされている。	➡	WPSドライバのポートを[FILE]に変更するか、WPSドライバを削除する。 〈方法〉ポートを変更するには、WPSドライバの設定画面を開き、[詳細] シートの [印刷先のポート] で [FILE] を選択します。 ドライバを削除するには、[スタート] から [プログラム] の [Windows Printing System] を選択し、[アンインストール] をクリックします。以降は画面の指示に従ってください。

■「アプリケーションエラー」や「一般保護違反」が表示されて印刷できない

原因		対処方法
Windows 3.1用のアプリケーションソフトで印刷している。	➡	Windows 98/Windows 95用のアプリケーションソフトで印刷する。
複数のアプリケーションソフトを起動している。	➡	他のアプリケーションソフトをすべて終了し、もう一度印刷する。
アプリケーションソフトに必要なメモリ容量が確保されていない。	➡	アプリケーションソフトの取扱説明書を参照し、必要なメモリ容量が確保されているかを確認する。 不足している場合は、メモリを増設してください。増設についてはコンピュータの取扱説明書をご覧ください。
ハードディスクの空き容量が不十分。	➡	不要なファイルを削除し、空き容量を増やす。
印刷した文書ファイル、またはファイルに使用されている機能に問題がある。	➡	同じ文書を新しく作り直して印刷する。 新しい文書で問題がなければ、元の文書ファイルに問題があったと考えられます。新しい文書でも同じ症状がある場合は、ご相談窓口にお問い合わせください。
インストールされているプリンタドライバに問題がある。	➡	プリンタドライバを削除し、もう一度インストールする。 〈削除の方法〉 ［スタート］から［プログラム］の［BJラスタプリンタ］を選択し、［アンインストーラ］をクリックします。以降は画面の指示に従ってください。

ブザーが鳴ってエラーランプが点灯（点滅）している

エラーが起きるとブザーが何回か鳴ってエラーランプが点灯、または点滅します。ブザーの鳴る回数でトラブルの原因がわかります。

ブザーの回数	原因		対処方法
2回	用紙がない、送られない、つまっている。	➡	用紙を正しくセットし直す。 つまっているときは、つまった用紙を取り除く。（32ページ） エラーの原因を取り除いたら、リセットボタンを押して印刷を続ける。
3回	ブラックBJカートリッジのインクがない。	➡	ブラックBJカートリッジ（BC-60）を交換する。（24ページ）
4回	フォト、またはカラーBJカートリッジのインクがない。	➡	インクタンク（BCI-62フォト、またはBCI-61カラー）を交換する。（21ページ）
5回	・BJカートリッジの取り付け位置が間違っている。	➡	・カートリッジホルダ左側にブラックBJカートリッジ、右側にフォトまたはカラーBJカートリッジを取り付ける。（12、24ページ）
	・BJカートリッジの取り付け不良。	➡	・BJカートリッジをはずし、接点部が汚れていないか、保護テープがはずされているかを確認して、もう一度取り付け直す。
	・BJカートリッジの故障。	➡	・エラーが解決しない場合は、新しいBJカートリッジに交換する。（24ページ）
6回	内蔵されている廃インクタンクがそろそろ満杯になる。	➡	リセットボタンを押して、エラーを解除する。 しばらくの間は印刷を続けられますが、満杯になるとブザーが8回鳴り、エラーランプが7回点滅し、印刷できなくなりますので、早めにお買い求めの販売店または修理サービス相談窓口に廃インクタンクの交換を依頼してください。（廃インクタンクは、プリントヘッドのクリーニング時に消費したインクをためるタンクです。）
7回	BJカートリッジが高温になっている。	➡	そのまましばらくの間(15分以上)放置してBJカートリッジの熱をさます。その後、リセットボタンを押して印刷を続ける。
8回	サービスが必要なエラーが発生している。	➡	電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。しばらくして電源プラグをコンセントに接続し、もう一度電源を入れる。 それでもエラーランプが点滅する場合は、お買い求めの販売店または修理サービス相談窓口にご相談ください。その際には、エラーランプの点滅回数をお知らせください。

印刷が途中で止まってしまう

原因		対処方法
高精細な絵や写真を印刷している。	➡	電源ランプを確認する。 点滅している場合は、データ処理中です。 このようなデータは容量が多いため、処理に時間がかかり、止まったように見えます。
長時間連続して印刷したためプリントヘッドが過熱している。	➡	区切りのいいところで印刷を中断し、プリンタの電源を切って冷えるまで（15分以上）待つ。 過熱したプリントヘッドを保護するため、行の折り返し位置で印刷が一時的に停止しますが、待っていると印刷が再開されます。 ⚠ 注意 過熱したプリントヘッドの周辺は絶対にさわらないでください。高温になっています。

印刷結果に満足できない

■意味不明の文字や記号が印刷される

正常な状態

文字が化けている

原因		対処方法
前回中止した印刷データがコンピュータやプリンタに残っている。	➡	本機とコンピュータの電源を入れ直して、もう一度印刷する。
BJ F800用以外のプリンタドライバを使用している。	➡	アプリケーションソフトの印刷ダイアログボックスのプリンタ名を確認して、「Canon BJ F800」が選択されていることを確認する。（7ページ）
本機とコンピュータがプリンタケーブルでしっかりと接続されていない。	➡	電源コードやプリンタケーブルをしっかりと接続する。
プリンタケーブルの異常。	➡	別のプリンタケーブルに交換する。 プリンタケーブルの異常については、販売元にご相談ください。
切り替え器や外付けバッファの異常。	➡	切り替え器や外付けバッファをはずし、本機とコンピュータを直接つないで印刷する。 正常に印刷される場合、切り替え器や外付けバッファの異常が考えられます。販売元にご相談ください。
プリンタがECPモードに設定されている。	➡	ECPモードを解除する。 〈方法〉プリンタドライバの設定画面を開き、[ユーティリティ] シートの [特殊設定] ボタンをクリックし、[プリンタをECPモードにする] のチェックマークを消して [送信] ボタンをクリックします。
印刷した文書ファイル、またはファイルに使用されている機能に問題がある。	➡	同じ文書を新しく作り直して印刷する。 新しい文書で問題がなければ、元の文書ファイルに問題があったと考えられます。新しい文書でも同じ症状がある場合は、ご相談窓口にお問い合わせください。

■印刷がかすれる／違う色になる

原因		対処方法
BJカートリッジのプリントヘッドが目づまりしているか、インクがなくなっている。	➡	ノズルチェックパターンを印刷して、プリントヘッドの状態を確認する。（18ページ）
一度はずしたオレンジ色の保護キャップや保護テープをプリントヘッドに再び取り付けた。	➡	保護キャップや保護テープをはずしてBJカートリッジをセットし、プリントヘッドをクリーニングする。 BJカートリッジを交換する→24ページ プリントヘッドをクリーニングする→19ページ
用紙の表裏を間違えて、印刷に適さない面に印刷した。	➡	用紙の表裏を確認し、印刷に適した面に印刷されるように用紙をセットする。 詳細は『リファレンスガイド（CD-ROM）』をご覧ください。

■文書の最後まで印刷できない

原因		対処方法
アプリケーションソフトやプリンタドライバで設定されている用紙サイズと、印刷した用紙のサイズが異なる。	➡	・プリンタドライバの[用紙サイズ]を、印刷する用紙サイズと同じ設定にする。 ・用紙サイズを指定できるアプリケーションソフトを使っている場合、［用紙サイズ］の設定を、プリンタドライバの[用紙サイズ]と同じ設定にする。
本機とコンピュータがプリンタケーブルでしっかりと接続されていない。	➡	電源コードやプリンタケーブルをしっかりと接続する。
プリンタケーブルの異常。	➡	別のプリンタケーブルに交換する。 プリンタケーブルの異常については、販売元にご相談ください。
切り替え器や外付けバッファの異常。	➡	切り替え器や外付けバッファをはずし、本機とコンピュータを直接つないで印刷する。 正常に印刷される場合、切り替え器や外付けバッファの異常が考えられます。販売元にご相談ください。
プリンタがECPモードに設定されている。	➡	ECPモードを解除する。 〈方法〉 プリンタドライバの設定画面を開き、[ユーティリティ]シートの［特殊設定］ボタンをクリックし、［プリンタをECPモードにする］のチェックマークを消して［送信］ボタンをクリックします。
コンピュータにWPS（Windows Printing System）ドライバがインストールされている。	➡	WPSドライバのポートを[FILE]に変更するか、WPSドライバを削除する。 〈方法〉 ポートを変更するには、WPSドライバの設定画面を開き、［詳細］シートの［印刷先のポート］で［FILE］を選択します。 ドライバを削除するには、［スタート］から［プログラム］の［Windows Printing System］を選択し、［アンインストール］をクリックします。以降は画面の指示に従ってください。

■画面の色と印刷した色合いが違う

ディスプレイとプリンタでは発色方法が異なります。また、ディスプレイを見ている環境や色の調整によっても発色が異なるため、色合いは完全に同じにはなりません。例えば、ディスプレイでは青に見えるものが紫に、黄緑に見えるものが深緑に印刷されます。しかし、極端に異なる場合は次の項目を確認してください。

原因		対処方法
BJカートリッジのプリントヘッドが目づまりしている、または特定のインクがなくなっている。	➡	ノズルチェックパターンを印刷して、プリントヘッドの状態を確認する。（18ページ）
プリンタドライバが正しく設定されていない。	➡	写真印刷の場合、[スーパーフォト]を選択するなど、印刷目的に合ったオートパレットを選択する。また、[BJカートリッジ]、[用紙の種類］の設定が、実際に使用するものと合っているか確認する。（7ページ）

■印刷した用紙がカールする／反り返る／波打ったようになる

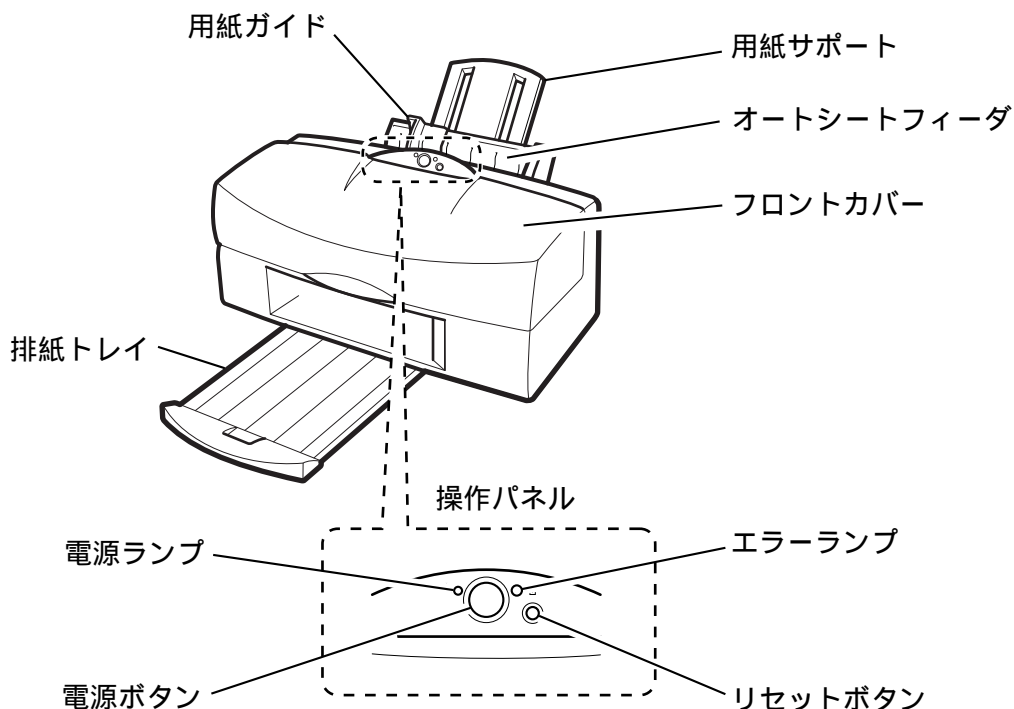
原因		対処方法
用紙が薄いため、過度のインクが用紙に吸収されている。	➡	印刷面にコーティング処理が施されている高品位専用紙（HR-101）を使用してみる。（14ページ）
印刷品位が［高速側］に設定されている。	➡	プリンタドライバで印刷品位を［高品位］側に設定する。 〈方法〉プリンタドライバの設定画面を開き、[オートパレット詳細］ボタンをクリックして、[クオリティ］シートで［印刷品位］のスライドバーを右（高品位）側に設定します。 印刷品位を上げると、1行を数回に分けて印刷するため、インクの乾きが比較的早く、用紙がカールしにくくなります。
濃度が高く設定されている。	➡	プリンタドライバで濃度を低く設定する。 〈方法〉プリンタドライバの設定画面を開き、[オートパレット詳細］ボタンをクリックして、[色設定］タブをクリックします。 ［濃度］のスライドバーを左側に設定して濃度を低くします。

その他のトラブル

以下のトラブルと対処方法は『リファレンスガイド（CD-ROM）』をご覧ください。

- カラー原稿がモノクロになる
- カラーがきれいに印刷されない
- 90゜回転してしまう
- 左上や右下にずれる／右側や下端が欠ける
- 左右反転した画像になる
- 拡大・縮小印刷がうまくできない
- ページにまたがる
- 罫線がずれる
- 用紙の裏が汚れる
- インクがにじむ
- 印刷面がこすれる
- 耐水性がない
- 白い筋が入る
- 色むらや色筋がある
- 電源が入らない
- 印刷が始まらない
- 動作はするが印刷されない
- カートリッジホルダが交換位置に移動しない
- カートリッジホルダが元の位置に戻らない
- はがきや封筒がうまく送られない
- 用紙が斜めに送られる
- 手差し給紙がうまくいかない
- 用紙が何枚も重なって送られる
- その他のエラーメッセージ（「LPT1への書き込みエラー」や「アプリケーションエラー」、「一般保護違反」以外のエラーメッセージが表示される）
- BJステータスモニタが表示されない
- バックグラウンド印刷ができない

付録：各部の名称と役割

前面

用紙ガイド
用紙をセットしたときに、用紙の端に軽く当てます。

用紙サポート
大きめの用紙をセットするときに、引き出して用紙を支えます。

オートシートフィーダ
ここに用紙をセットします。一度に複数枚の用紙をセットできます。自動的に一枚ずつ給紙されます。

フロントカバー
BJカートリッジの交換や、紙づまりのときに開けます。

排紙トレイ
印刷された用紙がここに排出されるので、印刷するときには引き出しておきます。

電源ランプ
消える―電源がオフの状態です。
点灯―印刷ができます。
点滅―プリンタの準備動作中、またはコンピュータからのデータを受信中です。

電源ボタン
電源を入れたり切ったりするときに押します。

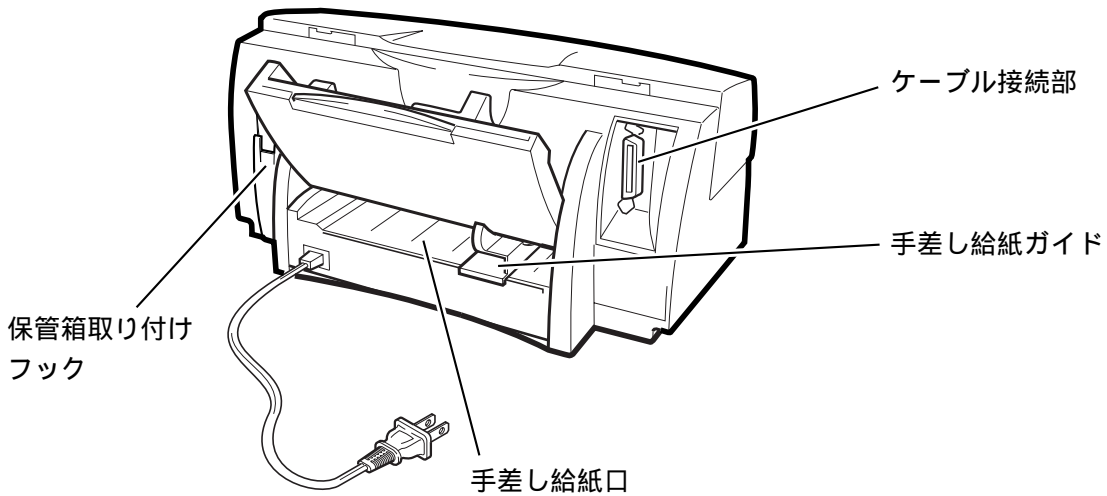
エラーランプ
点灯－プリンタにトラブルが起こり、印刷できません。
点滅－サービスセンターにご連絡ください。

リセットボタン
プリンタのトラブルを解消してからこのボタンを押すと、印刷できるようになります。

参考
リセットボタンを押したまま、ブザーが１回鳴った後にボタンを離すとヘッドクリーニングを、２回鳴った後にボタンを離すとヘッドリフレッシングを、３回鳴った後にボタンを離すとノズルチェックパターンの印刷を、４回鳴った後にボタンを離すと給紙ローラのクリーニングを行います。

背面

ケーブル接続部

手差し給紙ガイド

保管箱取り付け
フック

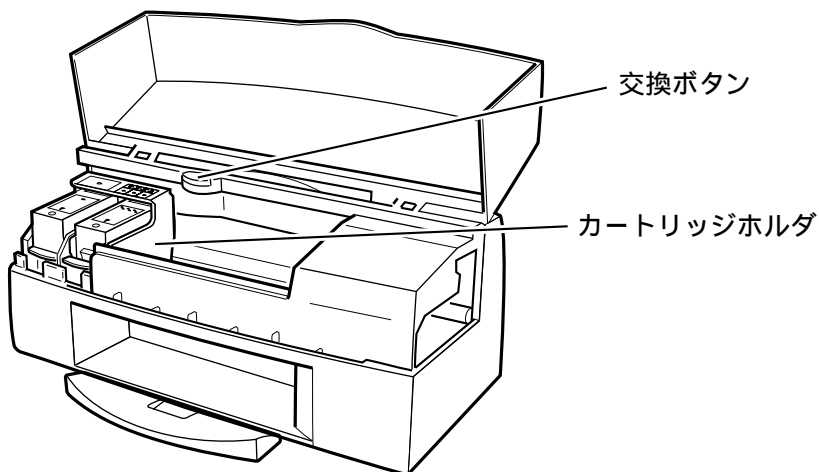
手差し給紙口

ケーブル接続部
コンピュータと接続するためのコネクタです。

手差し給紙ガイド
用紙をセットする前に、セットする用紙サイズに合わせます。

手差し給紙口
手差し給紙を行うとき、用紙をここから入れます。

保管箱取り付けフック
保管箱を取り付けるためのフックです。

内部

交換ボタン
BJカートリッジを取り付け／交換するときに押します。押すと「ピッ」と音がして、カートリッジホルダが左側に移動し、交換作業が可能になります。交換後に押すと、カートリッジホルダが右側に移動し、交換は完了です。

カートリッジホルダ
左にブラックBJカートリッジ、右にフォトBJカートリッジまたはカラーBJカートリッジを取り付けます。

付録：Windows 3.1をお使いの方へ

プリンタドライバをインストールする

Windows 3.1を起動して、次の手順でインストールします。

【インストールの前に確認してください】

・起動中のアプリケーションソフトを終了させてください。

・以前にBJプリンタを使ったことがある場合は、バージョンが異なるプリンタドライバを削除してからインストールを行ってください。

***1.*プログラムマネージャの[アイコン]メニューから[ファイル名を指定して実行]を選択する。**

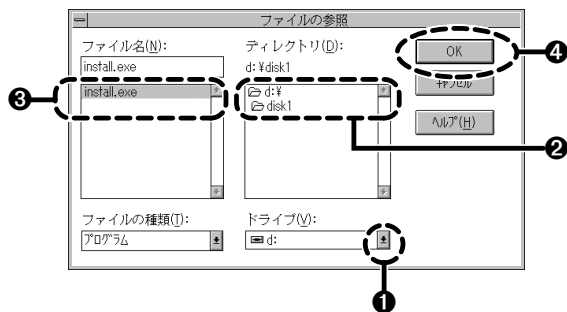
***2.*プリンタドライバのCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする。**

***3.*[参照]ボタンをクリックする。**

***4.*「Install.exe」を選択する。**

❶[ドライブ]の▼をクリックして、CD-ROMドライブ名をクリックする。

❷[ディレクトリ]の一覧から[disk1]をクリックする。

❸[ファイル名]一覧から[install.exe]をクリックする。

❹[OK]をクリックする。

参考

CD-ROMドライブは のアイコンで表示されます。選択に迷ったら同じアイコンを選んでください。

***5.*再び[OK]をクリックする。**

しばらくすると「BJラスタプリンタドライバインストーラ」のダイアログボックスが表示されます。

***6.*[継続]をクリックする。**

***7.*使用許諾契約書の内容をよく読み、同意する場合は[同意する]をクリックする。**

参考

[同意しない]をクリックすると、インストールを中止して終了します。
[お読みください]をクリックすると、readme.txtファイルの内容を読むことができます。

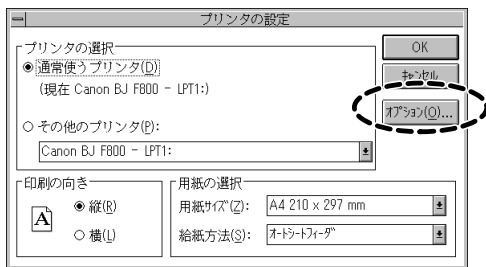
***8.*以降は、画面の内容に従って操作してください。**

プリンタドライバの設定画面を開く

***1.*アプリケーションソフトで、印刷を実行するメニュー項目を選択する。**

一般的には[ファイル]メニューの[印刷]、[プリンタの設定]などを選択すると、ダイアログボックスが開きます。

> **参考**
>
> **操作のしかたはアプリケーションソフトによって違います。お使いになるアプリケーションソフトの取扱説明書も併せてご覧ください。**

***2.*[プリンタの設定]ダイアログボックスで[通常使うプリンタ]が[Canon BJ F800]になっていることを確認して、[オプション]など、プリンタドライバを開くボタンをクリックする。**

プリンタドライバの設定画面が開きます。

ユーティリティ画面を開く

***1.*アプリケーションソフトで、印刷を実行するメニュー項目を選択する。**

***2.*[プリンタの設定]ダイアログボックスで[通常使うプリンタ]が[Canon BJ F800]になっていることを確認して、[オプション]など、プリンタドライバを開くボタンをクリックする。**

***3.*プリンタドライバの設定画面で[ユーティリティ]をクリックする。**

プリンタドライバのユーティリティ画面が開きます。

***4.*実行したい機能のボタンを選択する。**

付録：仕様

印刷方式
シリアルバブルジェット方式

印刷解像度
最高　1200（横）×600（縦）dpi

印刷速度（弊社標準パターンにて測定）

ブラック印刷	高速：732cps
	標準：488cps
カラー印刷	高速：約1.3～4.4ppm
	標準：約0.5～2.1ppm
	高品位：約0.16～0.19ppm
フォト印刷	高品位：約0.16ppm

印刷方向
双方向

印字幅
最長　218mm

動作モード
キヤノン拡張モード

バッファ
256KB

インタフェース
IEEE 1284準拠パラレルインタフェース

インタフェースコネクタ
アンフェノール57 - 40360相当

推奨プリンタケーブル
素材：AWG28以上
タイプ：ツイストペアシールド付きケーブル
長さ：最大 2.0m
コネクタ：アンフェノール30360相当

動作音
約48dB

動作環境
温度　5℃～35℃
湿度　10%～90%（ただし結露がないこと）

保存環境
温度　0℃～35℃
湿度　5%～90%（ただし結露がないこと）

電源
AC100V 50/60Hz

消費電力
約8W（待機時）　約45W（印刷時）

寸法
467mm（横）×313mm（奥行）×218mm（高さ）
（用紙サポート、排紙トレイを格納した状態）

質量
本体　約6.4kg

給紙方法

連続給紙
普通紙、高品位専用紙、官製はがき、フォト光沢ハガキ、封筒、OHPフィルム、フォト光沢フィルム、バックプリントフィルム、BJクロス、Tシャツ転写紙

手差し給紙
厚紙

オートシートフィーダ積載枚数

普通紙（64 g/m²のとき）	最大130枚
高品位専用紙	最大100枚
官製はがき	最大40枚
フォト光沢ハガキ	最大40枚
封筒	最大15枚
OHPフィルム	最大30枚
バックプリントフィルム	最大10枚
フォト光沢フィルム	1枚
BJクロス、Tシャツ転写紙	1枚

使用できる用紙

サイズ：	A4、A5、B5、Legal、はがき、洋形4号、洋形6号、Letter、A4 ＋、Letter＋
重さ：	連続給紙　64 g/m²～105 g/m²
	手差し給紙 64 g/m²～550 g/m²
厚さ：	0.8 mm以下（手差し給紙　紙長 297 mm以内）

一般的な用紙
普通紙
官製はがき
封筒　洋形４号、洋形６号

キヤノン専用紙

キヤノンバブルジェット用紙	LC-301(A4)
フォト光沢ハガキ	KH-201N
高品位専用紙	HR-101(A4)
フォト光沢フィルム	HG-201(A4)
OHPフィルム	CF-102(A4)
バックプリントフィルム	BF-102(A4)
BJクロス	FS-101
Tシャツ転写紙	TR-201

グラフィックイメージ印刷

データ構成
キヤノン拡張モード　ラスタイメージフォーマット

解像度
キヤノン拡張モード　300、600、1200dpi

使用できるBJカートリッジ

ブラックBJカートリッジ
正式名称　ブラックBJカートリッジBC-60
ノズル数　各色304

インク色　　　　　　ブラック、普通紙耐水強化剤
印刷可能枚数　　　　約900枚（1500文字標準文書）

カラーBJカートリッジ

正式名称　カラーBJカートリッジBC-61
ノズル数　各色80
インク色　シアン、マゼンタ、イエロー
印刷可能枚数*　290枚（1ページに各色7.5%印刷）

フォトBJカートリッジ

正式名称　カラーBJカートリッジBC-62eフォト
ノズル数　各色80
インク色　シアン、マゼンタ、イエロー、
　　　　　フォトシアン、フォトマゼンタ、
　　　　　フォトイエロー
印刷可能枚数*　160枚（1ページに各色7.5%印刷）

＊A4サイズの印刷可能領域をもとにインクタンクの印刷可能枚数を算出

プリンタドライバの動作環境

動作環境	必要な条件
コンピュータ本体	Microsoft Windows 98日本語版、Microsoft Windows 95日本語版、およびMicrosoft Windows 3.1日本語版が動作するコンピュータ（DOS/V機および36ピンパラレルインタフェースを持つNEC PC-98シリーズ*）
基本ソフトウェア	Microsoft Windows 98日本語版、Microsoft Windows 95日本語版、およびMicrosoft Windows 3.1日本語版
ハードディスク	インストール時に必要な容量はWindows 98とWindows 95の場合は約16Mbyte、Windows 3.1の場合は約5Mbyte（一時的に使用する領域を含む）

「*」印のコンピュータは、BJステータスモニタを使うとき、双方向通信が可能なセントロニクスケーブルを使用し、プリンタポートはLPT1を使用してください。

参考

以下の条件ではBJステータスモニタは使用できません。
- **双方向通信機能に対応していないPC-98シリーズの一部の機種（エプソン製の互換機を含む）**
- **本機をネットワークプリンタとして使用する場合**

参考

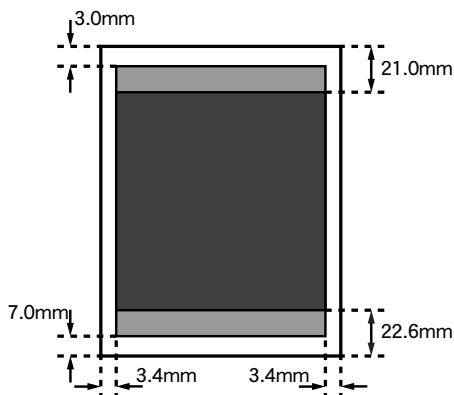
Microsoft Windows 98（英語版）、Microsoft Windows 95（英語版）、Microsoft Windows 3.1（英語版）での動作は保証しておりません。

印刷できる範囲

プリンタは印刷の品質を維持するため、用紙の上下左右に余白を設けています。実際に印刷できる範囲は、これらの余白を除いた部分となります。用紙サイズによって、印刷できる範囲が異なりますのでご注意ください。
ここでは、A5、A5横、A4、B5、はがきの用紙について説明します。

CD-ROM

他の用紙については、『リファレンスガイド（CD-ROM）』をご覧ください。

印刷できる範囲には印刷推奨領域と印刷可能領域があります。
印刷推奨領域……この範囲に印刷することをお勧めします。（濃い灰色の部分）
印刷可能領域……印刷できる範囲です。ただし、印刷の品位または用紙送りの精度が低下することがあります。（薄い灰色の部分）

印刷可能領域（幅×長さ）

	単位：mm
A5	141.2×200.0
A5横	203.2×138.0
A4	203.2×287.0
B5	175.2×247.0
はがき	93.2×138.0

お問い合わせの前に

本書のトラブルクリニックの章を読んでもなおトラブルの原因がはっきりしない場合は次の要領でお問い合わせください。

プリンタの故障の場合は？

プリンタがどうやっても動かなかったり、深刻なエラーが発生して回復しない場合は、プリンタの故障と判断されます。

―――― **プリンタ本体の故障と判断されるとき**

修理のご依頼

プリンタ本体に原因・・・

確認の結果や症状を記入しましょう

状況をまとめて、お買い上げいただいた販売店またはお近くの修理サービスご相談窓口に修理を依頼してください。

別冊の「ご相談窓口のご案内」をご覧ください。

トラブルの原因がわからない？

プリンタの動作が正常に行われ、ソフトウェアの設定も問題なければ、プリンタケーブルやコンピュータシステム（メモリ、ハードディスク、インタフェースなど）に原因があると思われます。

―――― **プリンタケーブルやコンピュータのシステムに原因がある**

トラブルや取り扱い方法のお問い合わせ

プリンタケーブルやシステムに原因・・・

確認の結果や症状を記入しましょう

状況をまとめて、お買い上げいただいた販売店またはお近くの修理サービスご相談窓口に修理を依頼してください。

別冊の「ご相談窓口のご案内」をご覧ください。

アプリケーションソフトの問題のようだけど？

特定のアプリケーションソフトで起きるトラブルはコンピュータシステムの原因か、あるいはソフトウェア自体に原因があると予想されます。プリンタドライバを最新バージョンにインストールし直すと問題が解決される場合があります。また、アプリケーションソフト固有の問題である可能性もありますので、アプリケーションソフトメーカのご相談窓口へもお問い合わせください。

―――― **プリンタドライバのバージョンやアプリケーションに原因がある**

コンピュータのシステムに原因

最新のプリンタドライバを入手したい

プリンタドライバのバージョンアップ

NIFTY SERVEキヤノンステーションまたはキヤノン販売インターネットダウンロードサービス(http://www.canon-sales.co.jp/Download/down-bj.html)で入手できます。ここにプリンタドライバの最新バージョン情報や特定のアプリケーションに関わるトラブル情報も掲載されていますので、ぜひご活用ください。また、パソコン通信を利用できないお客様のために郵送サービスも実施しております。

別冊の「ご相談窓口のご案内」をご覧ください。

アプリケーションソフトに原因

アプリケーションソフトメーカのご相談窓口へ

アプリケーションソフトに原因・・・

アプリケーションソフトの取扱説明書を確認して、メーカのご相談窓口にもお問い合わせください。ソフトウェア固有の問題に関する情報が得られます。

修理の依頼は

●窓口へお持ちいただく場合

最寄りの修理サービスご相談窓口まで製品をお持ち込みください。その際、下記の事項をメモ書きでご用意いただくと、受付時にお客様の貴重なお時間を節約することができます。
お客様のお名前、ご住所（修理後商品を返送する場合はその住所）、電話番号、製品名、機番（保証書／販売シートを参照）、お買い上げ日、故障した日、保証期間中の有無、故障内容（どのように使用したときにどんな不具合があるか）、お買い上げいただいた販売店の住所、電話番号、また保証期間中の場合は保証書を商品とともにお持ちくださるようにお願いします。

●宅配便で送付していただく場合

・商品が輸送中のショックで壊れないように、なるべくご購入いただいたときの梱包材をご利用ください。他の箱をご利用になるときは、丈夫な箱にクッションを入れて、商品がガタつかないようにしっかりと梱包してください（インクが漏れないように、『リファレンスガイド（CD-ROM）』にある「プリンタの移送」をご覧になって梱包してください）。
・「パーソナル商品修理受付票」に所定の事項をご記入いただき（「窓口へお持ちいただく場合」と同様のメモ書きでも構いません）、商品に添付してください（なお、FAX情報サービス（受付番号:6000#）またはインターネットのキヤノン販売ホームページ
（http://www.canon-sales.co.jp/Customer/repair/rpr_sht.html）
で「パーソナル商品修理受付票」を入手できます）。

ご注意：保証期間中の保証書は、記入漏れのないことをご確認のうえ、必ず商品に添付、または商品と一緒にお持ちください。

お問い合わせシート（電話ご相談窓口へお問い合わせのとき）

【プリンタの接続環境について】
コンピュータ　メーカ名：＿＿＿＿＿＿＿＿／機種名：＿＿＿＿＿＿＿＿
プリンタケーブル　メーカ名：＿＿＿＿＿＿＿＿／品名：＿＿＿＿＿＿＿＿
接続方法：□プリンタを単独で使用　□プリンタを共有して使用（ネットワーク：　　　／その他：　　　）
【コンピュータの使用環境について】
基本ソフトの種類：
□Windows98（バージョン：　　　）
□Windows95（バージョン：　　　）　□Windows3.1（バージョン：　　　）
□Macintosh（バージョン：　　　）　□その他（　　　）

メモリ容量：＿＿＿MB　ハードディスク容量：＿＿＿MB（空き容量：＿＿＿MB）

【ご使用のソフトウェアについて】（複数あればすべて記入）
アプリケーションソフト　メーカ名：　　　／製品名：　　　／バージョン：
メーカ名：　　　／製品名：　　　／バージョン：
メーカ名：　　　／製品名：　　　／バージョン：
プリンタドライバのバージョン：（　　　）

【エラー表示】
コンピュータの画面に表示されたエラーメッセージ(できるだけ正確に)：
（　　　）

【確認の結果を記入してください】
プリンタの電源ランプ　□ついた　□つかない　□点滅している
プリンタのエラーランプ　□ついた　□つかない　□点滅している
プリンタからのノズルチェックパターン　□印刷した　□印刷しない　□正常に印刷できない
プリンタドライバからのテストプリント　□印刷した　□印刷しない　□正常に印刷できない
アプリケーションソフトからの印刷　□印刷した　□印刷しない　□正常に印刷できない

【具体的な症状を記入してください】